



NO. 883  
 発行  
 2016年  
 6月10日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 上石 昌彦  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 強豪チームに逆転2ラン しかしコールド負け

第15回国労東日本野球大会が5月26日〜27日(木・金)に東京大井ふ頭中央海浜公園・野球場で開催されました。

残念ながら、初日は試合が開催されませんが二日目は天候悪化、グラウンド不良の為、新潟チームは1試合の参戦で組合員、支援者など総勢15名で参加しました。

## 東京A地本と対戦

試合は東京A地本(新橋)との対戦。第11回大会優勝、前回大会



3位の強豪チームに先発・加藤選手は初回タイムリーヒットを許したが1点に抑えました。

## 7点のビッグinning

すると裏の攻撃で1番近藤選手が持ち前の粘りで四球を選ぶと初球に盗塁を決め、チームは鼓舞しました。

これに支援者が応え、逆転の2ランホームランでリードを奪いま

した。



## 東京Aチームと対戦 国労東日本野球大会

## 打者一巡の猛攻

初回の攻撃は、これだけでは終りませんでした。4番・中沢選手のクリーンヒットを足掛かりに7番・剣持選手のセンター前、2点タイムリーヒット、9番・加藤選手のレフト前ヒットで繋ぎ、走者1・2塁から近藤選手の右中間2点、3塁打が炸裂しました。エラー、四球を絡めた打者一巡の猛攻で、この回7点のビッグinningを作りました。

しかし百戦練磨の東京チームがこれで終わる訳が無かったです。1塁からのホームイン激走直後の加藤選手の投球を確り見極め四球を選んできました。初回こそ無難な立ち上がりだった投球もストライキが入らず四球・押し出しを連発し2回途中、急遽エース・長谷川選手を投入しました。

エースが凄いだが、2回の大量失点と尻上がりに良くなってきた東京の投手に4回裏の攻撃で内野ゴロ間の1点に抑えられ、5回時間切れの8×17 コールド負けでした。

## 参加者

- 新一運 佐藤 昌典
- ニイ車セ 加藤 秀夫
- 新潟駅 阿部 光晴
- 新津駅 石川 忠雄
- ナカ車セ 福富 雅彦・近藤 努
- 長岡運輸区 中沢 達也・長谷川 正志
- 剣持 利男
- 支援者 6名

## 総勢15名

## 編集後記

5月も終わり6月に入りました。時間が過ぎるのが早く感じられます。異常気候で、5月でも30℃を超える日が新潟だけでなく全国的に広がっています。体調管理に気を付けてください。

## 勇気を与えてくれた

### ●キャプテン・加藤のコメント

自分の不甲斐無い投球で勝てる可能性が有る試合をぶち壊して、チーム及び東京チームにも大変申し訳ない。

次回、投球する機会があったらストライクが取れる様に自己努力します。嬉しかったことは、先ずケガ人を出さなかったこと。大多数の方がこの野球大会でしか野球する機会が無いのに、前回大会と同じレベルの活躍をされ、剣持選手に至っては3打数3安打の猛打賞でチームに貢献してくれたことです。

石川選手のダイビング・スピン・キャッチ、中沢選手のファインプレー等、新潟チームが勝利の為にひとつになれたことは、今後の新潟地本に勇気を与えてくれたと思います。

2年後は、新たな仲間を加えるとともに、自己節制して勝利に貢献できるよう頑張りたいと思います。

最後に「鏝骨に鞭を打って」？ 参加された皆様に感謝しています。

